

1 組織

(1) 協議会名称

都立青梅総合高等学校 学校運営連絡協議会（定時制課程）

(2) 事務局の構成

副校長、経営企画室長、事務局長（教務主任）、教務部員1名、計4名

(3) 内部委員の構成

校長、副校長、経営企画室長、教務主任、生活指導主任、進路指導主任、年次主任代表、自立支援担当
計8名

(4) 協議委員の構成

青梅市内中学校長、青梅市教育委員会代表、地域商工会議所代表、地域住民代表、保護者代表 計5名

2 令和6年度学校運営連絡協議会の概要

(1) 学校運営連絡協議会（第1～3）の開催日時、出席者、内容、その他

第1回 令和6年6月13日（木）

- ・協議委員委嘱、委員紹介、学校経営計画、各分掌等の計画の説明
- ・本校の教育活動と各分掌からの本年度の計画報告
- ・令和6年度東京都高等学校体育連盟主催定時制通信制春季大会報告
- ・青総祭（文化祭開催について）

第2回 令和6年11月7日（木）

- ・本校の教育活動及び生徒の状況について
- ・各分掌から中間報告
- ・学校評価アンケート検討

第3回 令和7年2月6日（木）

- ・本校の教育活動及び生徒の状況について
- ・各分掌から中間報告
- ・学校評価アンケートの報告
- ・質疑応答

(2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他

第1回 令和6年6月13日（木）

学校評価の基本方針の確認、今年度の学校評価の実施に向けた検討

- ・学校評価アンケートの質問項目の検討
- ・Formsを活用したアンケートの実施（※R6より地域アンケートもFormsアンケートに変更）

第2回 令和6年11月7日（木）

- ・学校評価アンケートの分析・考察、課題の整理

第3回 令和7年2月6日（木）

- ・学校評価アンケートの報告

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

（1）評価の観点

「学校の意欲」「学校の実践」「学校への理解」の観点で実施した。

（2）アンケートの実施時期、対象、規模（↑↓は昨年比）

・12月	全校生徒	対象：150人	回収：108人	回収率：72.0%↓
・12月	教職員	対象：26人	回収：26人	回収率：100.0%
・12月	保護者全員	対象：150人	回収：41人	回収率：27.3%↑
・12月	地域・住民	対象：90人	回収：16人	回収率：17.8%↓

（3）主な評価項目

- | | |
|---------------|-----------------------|
| ①学校に対する満足度 | ②授業満足度 |
| ③学校生活への取り組み | ④一人一台端末の活用 ※R6より実施 |
| ⑤「考えさせる授業」の実践 | ⑥校則・マナーやルールの指導 |
| ⑦進路の実現に向けた指導 | ⑧相談体制 |
| ⑨施設管理 ※R6より実施 | ⑩ライフ・ワーク・バランス ※R6より実施 |
| ⑪地域から見た本校について | |

（4）評価結果の概要・分析・考察（↑↓は昨年比）

①学校に対する満足度

- ・肯定的な評価 生徒53.7%↑ 保護者39.0%↑ 教員26.9%
- ・生徒の肯定的回答が大きく上昇した。とくに人数の多い1年次で肯定的回答が多い。
- ・保護者は「そう思う」が増加したものの、否定的回答も増加している。
- ・教員は否定的回答が大きく減少し、「ややそう思う」が増加した。

②授業満足度

- ・肯定的な評価 生徒48.1%↑ 保護者61.0%↑ 教員46.2%
- ・校内研修の充実等を背景とし、教員の肯定的回答は高い状態を維持している。
- ・生徒の肯定的回答が増加しており、学校生活の充実とともに授業に前向きに取り組む姿勢ができていることが伺える。
- ・以上の変化を保護者が肯定的に受け止め、「そう思う」が大きく増加した。

③学校生活への取り組み

- ・肯定的な評価 生徒55.6%↑ 保護者29.3%↑ 教員19.2%
- ・部活動の充実等に伴い、生徒の肯定的回答が大きく増加した。
- ・これを受け保護者の肯定的回答も増加している。
- ・一方で教員の「あまりそう思わない」がやや増加した。

④一人一台端末の活用

- ・肯定的な評価 生徒52.8% 保護者51.2% 教員30.8%
- ・Teamsやロイロノートの利用促進により、7割近くの生徒が肯定的回答をしている。

- ・ iPadの購入をしていない4年次の生徒も回答しており、否定的回答の増加につながっている。
- ・ 授業内容によりICT活用が適していないこともあることや、生徒が自宅等に端末を置いてくることが多いことを背景とし、教員の否定的回答も30%に上っている。

⑤「考えさせる授業」の実践

- ・ 肯定的な評価 生徒52.8%↑ 保護者31.7%↑ 教員26.9%
- ・ 校内研修の充実等を背景とし、全教員が肯定的回答をしている。
- ・ 教員の授業改善や生徒の意欲向上により「そう思う」が大きく伸び、9割が肯定的回答をしている。
- ・ これに伴い保護者の「そう思う」も増加している。

⑥校則・マナーやルールの指導

- ・ 肯定的な評価 生徒62.0%↑ 保護者46.3%↑ 教員80.8%↑
- ・ 生徒の肯定的回答が増加しており、規範意識の向上が伺える。
- ・ これに伴い保護者の肯定的回答も増加している。
- ・ 分掌・年次・養護教諭・SC・SSW・外部機関の連携が進んでおり、教員の「そう思う」が大きく増加している。

⑦進路の実現に向けた指導

- ・ 肯定的な評価 生徒58.3%↑ 保護者39.0%↑ 教員65.4%↑
- ・ 産業社会と人間や総合的な探究の時間でのキャリア教育、進路ガイダンス、模擬面接等の取り組みにより、生徒の「そう思う」が大幅に増加している。
- ・ 保護者も肯定的回答が多いものの、生徒に比べ「そう思う」の比率が少ない。
- ・ 教員の「そう思う」が増加している一方で、「あまりそう思わない」も増加傾向にある。

⑧相談体制

- ・ 肯定的な評価 生徒57.4%↑ 保護者51.2%↑ 教員53.8%
- ・ 生徒の「そう思う」が増加している。一方で否定的回答は減少傾向にあるものの、1割以上である。
- ・ 保護者に関しても同様の推移が見られる。
- ・ 分掌・年次・養護教諭・SC・SSW・外部機関の連携が進んでおり、全教員が肯定的回答をしている。

⑨施設管理 ※R6より実施

- ・ 肯定的な評価 生徒57.4% 保護者58.5% 教員3.8%
- ・ 生徒・保護者の肯定的回答は9割である。否定的回答に関しては自由意見を参照すると、トイレや更衣室に問題を感じていることが伺える。
- ・ 教員は否定的回答が多く、6割を超えている。施設の老朽化や冷暖房未設置の教室に不安が感じられる。

⑩ライフ・ワーク・バランス ※R6より実施

- ・ 肯定的な評価 生徒57.4% 保護者48.8% 教員50.0%
- ・ 生徒は肯定的回答が9割を超えている。

- ・一方で保護者は2割が「あまりそう思わない」と回答している。
- ・教員は8割以上が肯定的回答をしている一方で、1.5割が否定的回答をしており、業務負担の偏りが伺える。

⑩地域の方から見た本校について

- ・①文化祭、生產品販売への参加 43.8% ↓ ②HPやXの認知25.0%
 ③登下校のマナーの良さ81.3% ↓ ④施設に関する不備や危険性がない62.5%
- ・①は設問が大きく変化したため、昨年と大きく異なる比率となった。
- ・②で質問したHPやXの認知度は横這いであった。
- ・③は回答数・回答率の変化の影響か、年度による変動が大きい。
- ・④では3割が施設等に関して不備・危険を感じていることが明らかになった。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・近隣の中学校や地域と、活発に情報交換ができ、今後の教育活動のヒントをたくさん得ることができた。
- ・地域の方からの意見を本校の活動に取り入れることができた。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・保護者に対する情報発信と地域への発信を継続することが課題である。
- ・勤務年数の少ない教員から、職場に対する意見を拾う必要がある。
- ・地域の方々へのアンケートはデジタル化により効率化できたが、回収率が伸び悩んだ。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

- ・デジタル化、ペーパーレスの推進と、情報収集の工夫。
- ・多様な生徒の活動を発信し、学校理解と生徒の意欲向上を目指す。

6 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 4人

(2) 「学校がよくなった」と答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない	わからない	無回答
4						